

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 中村

山名	大台ヶ原山 西大台(1300m~1570m)	山行名	例会 西大台
ルート	西大台(出入口ー七ツ池ー展望所ー開拓分岐ー中ノ谷-出入口)ー苔探勝路		
山行日	2024年6月11日(火)	天候	快晴
参加者	リーダー:中村 サブリーダー:米田 ガイド(非会員)南元延彦 男性:平尾、木田 女性:伊藤、岡本、田中(み) 合計:8名		

ルート概略図



コースタイム

地名		時:分	地名		時:分
出入口(西大台)	集		石畳石	着	14:15
	発	9:35		発	14:30
沢手前(中ノ谷)	着	10:32	出入口(西大台)	着	14:46
	発	10:55		発	
開拓跡	着	11:30		着	
	発	11:40		発	
展望所	着	12:43	苔探勝路(周回)	着	15:10
	発	12:53		発	15:30
赤い吊橋横	着	13:13		着	
	発	13:28		発	

山行報告

概要 自然観察を目的として事前に入山申請を行い、当日講習を受講した後、大台ヶ原登録ガイドによる案内で西大台を反時計回りに周回した。苔探勝路も歩いた。

詳細 快晴に恵まれ、「ミョーキン、ミョーキン、ケケケ」というエゾハルゼミの鳴き声を聞きながら、西大台入口でチェックを受けた後、ガイドが先頭で下り道から周回が始まった。ところ所で立ち止り、ガイドが樹木などを説明する話を聞きながら進む。最初は、立ち止まるスタイルに慣れなかったが、歩きながらガイドに質問したり、草木の写真を撮りながら歩くスタイルに慣れていった。

ほどなく開けたナゴヤ谷上流部には、バイケイソウの群落があった。右上に松浦武四郎碑を望む所では、明治の探検家の話が聞けた。ヒノキとミズナラの林を過ぎて、沢の手前で休憩した。おにぎりを食べていたら倒木の上で、「チリリリリ」と鳴くミソサザイを発見した。

七ツ池のブナ林を過ぎると美しい苔の群落が続く。まさに関西の屋久島だ。やがて開けた平地の開拓跡に到着した。その後、開拓分岐を過ぎ、緩やかな坂を登り切り展望所に出た。正面に大蛇岩、左下に中の滝を眺望する。

往路を下り、開拓分岐からは、来た方向に沢を右下に見て戻る。赤い吊橋の上から、アマゴが泳いでいるのを観察した。ゆっくりと登り道となり、タタラカ水を過ぎナゴヤ谷の沢音を聞きながら進む。まもなく石畳石がある所で休憩した。涼しい沢風に力を得て、最後の登りを経て西大台入口に戻った。

苔探勝路の途中には大台教会の開祖古川嵩の墓碑があった。

ヒヤリハット 無

例会西大台 感想

伊藤

遠くの例会に参加するたびに、思ってきた。「こんなに遠くまで連れてきてくれてありがとう。一人ではとても来られなかったな…」と。西大台の例会案内を見てすぐに、「平日にブナの原生林、苔むす森をガイドの案内で歩きます。」という一文に、魅かれた。何という贅沢。後で、CLのNさんは昨年入会にもかかわらず、きめ細やかな計画を立てていてくれたことに驚きました。

西大台を歩いたのは初めて。期待以上の素晴らしい自然林が広がっていました。日本で一番降水量の多いと言われている大台ヶ原。巨樹も岩も倒木もすっかり苔の衣に覆われています。そっと触れるとフカフカです。鹿の食害で、笹原が消滅。防護柵で囲われた部分だけは笹の回復が見られます。自然を自然のままにして置くのがいかに困難か、考えさせられます。

ブナ林に行く度に思うのですが、こんな美しい林の中で1時間ぐらい寝転んでいられたら幸せだろうな。でも、実際には時間に追われてそんな悠長なことはできません。それでも素敵な時間を一緒に過ごしてくれた皆さんに感謝です。ガイドのMさんには沢山のことを教えてもらいましたが、ここには書ききれませんので、感謝の気持ちだけをお伝えします。



例会西大台 感想

岡本

雨の多い大台ヶ原とは思えないくらい快晴の中、苔むすブナの原生林を歩き、きれいなお花や透き通った小川の中のイwanaやおたまじゃくしを見ながら、日常の色々な事を忘れることが出来た一日でした。こんな素敵な山行を計画して下さいましたNさん、長距離を運転して下さいましたKさん、そして同行して下さいました皆さんありがとうございました。



例会西大台 感想

平尾

大台ヶ原へはこれまで2度来ているが、西大台は利用調整地区なので1人では行けないと思っていたところ、かなびに例会の案内がでた。さっそく集合時間に間に合うか調べ、奈良で前泊するつもりですぐに申し込んだ。(あとで丹波橋周辺の駐車場を教えてもらったので助かったが)天気もよく、ガイドの南元さんの案内で西大台の自然や歴史を詳しく教えてもらえ充実した1日を過ごすことができた。

ブナ林やヒノキとミズナラ混交林を通り、ミズナラの巨木もあった。多雨のためか、ブナの樹幹下部がふさふさのコケで覆われたのを見たのは初めてだった。コケ群生地では倒木や岩も緑一色にびっしり覆われ原生的な雰囲気にも包まれていた。ミヤマシキミの実、ヒメレンゲの黄色い花の群生、カマツカやガマズミ、トチノキの白い花などみんなで名前を覚えた。さわやかな清流にはアマゴやオタマジャクシの群れ、樹上からはオオルリやミソサザイ、エゾハルゼミの鳴き声が聞こえてくる。展望所まで足を伸ばし目いっぱい静かな森を満喫できた。ただ、シカの食害で植生に影響が出ているのが残念だった。

下山後にはCLの地元振興の一助にとの配慮で上北山温泉に立寄り、いいお湯で汗を流しさっぱりと帰途についた。(立入認定書を見せると無料)いい企画に行き届いた配慮をもらったCLに感謝です。同行のみなさん楽しい山行でした。ありがとうございました。